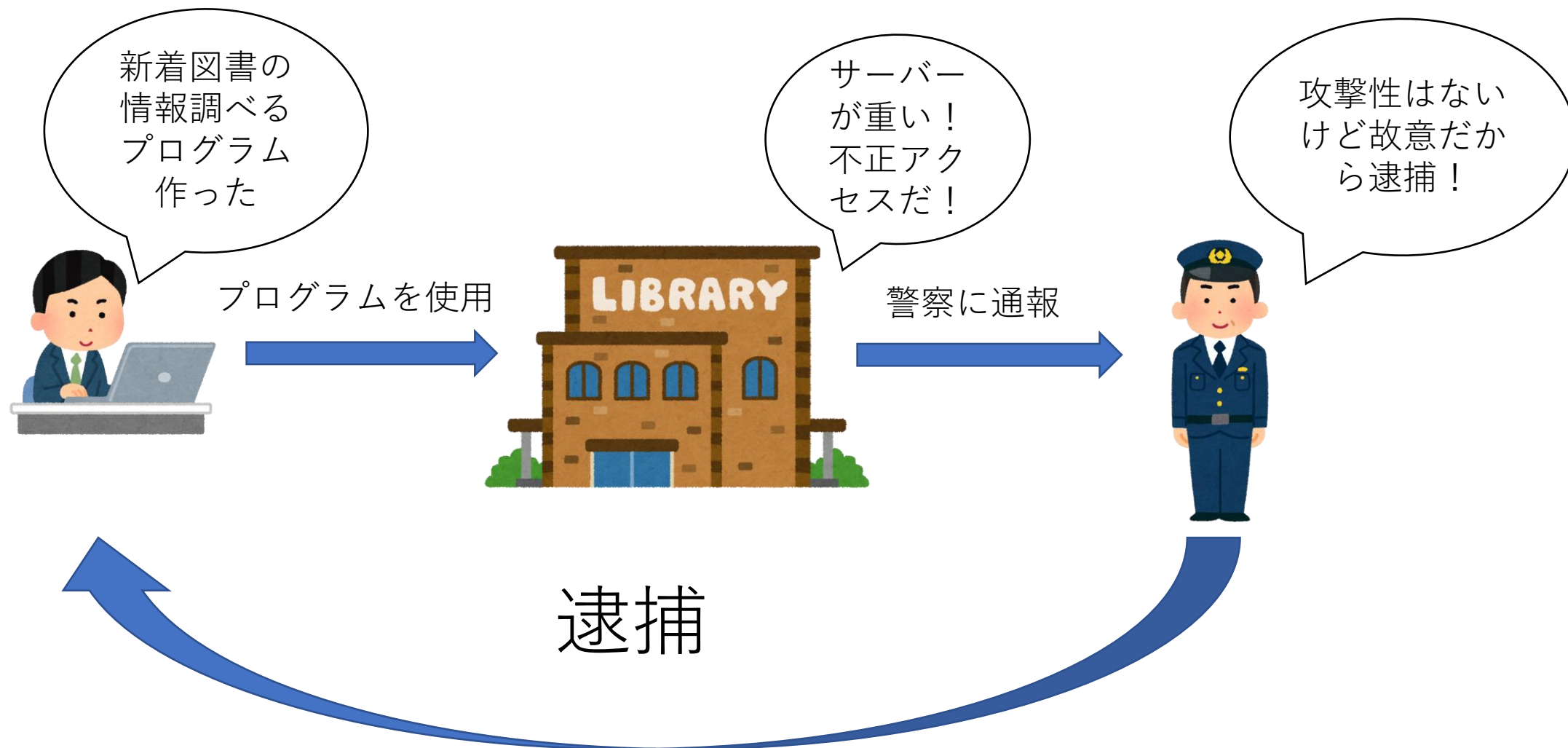


岡崎市中央図書館事件の概要



事件のポイント

- ・ プログラムについて

このプログラムは
一般的なサーバーに対して
攻撃性は低い。

。

- ・ 警察、検察の見解

大量にリクエストを送ったことから故意だと判断し逮捕。嫌疑不十分ではなく起訴猶予とした。
実際は図書館のサーバーの管理業者のミスでサーバーが脆弱になっていた。

* 起訴猶予とは検察側が行う不起訴処分。つまり被疑者が罪を認めたと判断。

この事件からわかること

- ・警察側がサイバーに対して弱い。検察官はサイバーに弱かったため被疑者の「大量にリクエストを送る」という言葉を常識的な範囲でないと判断した。
- ・図書館が完全にサーバー関連のことを業者に委託していたので通報することしかできなかった。
- ・今回の件に関しては悪質な攻撃性はなかったのに逮捕されるのは筋が通っていない。また、専門家の意見もあまり取り入れられなかった。

参考文献：librahack.jp/readme